

将冠岳

令和3年度 佐世保市立皆瀬小学校
学校だより 第16号 R3. 10. 6
校長 松瀬 伸吾

「ふるさと」「笑顔」「挑戦」

みな いーぜ
かいぜ!

創立記念日によせて

今日は「創立記念日」、皆瀬小学校が生まれた日です。今年で、なんと147歳。昨年度までの卒業生台帳には、7324名もの卒業生の方が記載されています。

昭和49年（1974年）には、100周年を迎え、プールが現在の体育館あたりに落成した記録が残っています。また、職員玄関前にある立派な校歌の歌碑は、創立120周年を記念して平成6年（1994年）に建てられたものです。これだけでも、皆瀬小学校が愛され、大事にされてきた学校であることがよくわかります。



皆瀬小学校開校の地（現在の様子）

平成8年発行の「中里皆瀬地区郷土誌」（中里皆瀬地区連合町内会）には、次のような記述があります。

その外、特筆すべきものとして、明治6年村の有志が協議の上、柚木村に聘された（招かれた）、井手太兵衛に出張教授を乞い、玉依姫神社を柚木の憲章堂塾の分舎として近郊の子弟の教育をしたものである。生徒数はおよそ17、8名と言われている。その後間もなく生徒数も増加したので、分舎に家屋を付設し、教師の増員も行って、左記のように教師の分担を決めていた。

（中略）

その後明治7年10月6日、皆瀬小学校は、塾のあった玉依姫神社で開校し、同月十文野免字屋敷ノ久保に間口七間、奥行き二間半の校舎を建設。第五大学区第四中学校区皆瀬小学校と称している。

また、明治12年4月から明治19年6月までは、「皆是小学校」という名称であった記録もあります。「是」には「道理にかなっていること。正しいこと。」という意味があります。百年以上前にも「みな いーぜ かいぜ！」の考えがあったに違いありません。本校で大事にしていきたい精神の一つです。

本年度、皆瀬小学校では、以下のことをキーワードとして教育を行っています。

「ふるさと」ふるさとに学び、ふるさとを愛し、誇りに思う子供を育てる。

「笑顔」挑戦、失敗に優しく、互いに認め合い励まし合える、笑顔あふれる学校をつくる。

「挑戦」変化を創造できる、明るく、たくましい子供を育てる。

100周年、120周年記念の記録からも分かりますが、皆瀬小学校は、多くの卒業生、地域・関係の皆様が、伝統と校風を作り上げてこられた学校だということです。創立記念日に、ふるさと等について今一度考え、今後も、皆瀬小学校で学ぶ子供たち、保護者・地域の皆様方、そして教職員が一体となって、これまでの伝統を守り、育て、新たな校風を樹立していきたいと考えます。

子供たちにも、各学級で創立記念日について話をしています。ご家庭でも話題にいただければ幸いです。

校歌の歌碑

